


他市に誇れる内容をともなった 公設公営の実現こそ、

 みんなの願いです。

2000年度からの学童保育の公設公営化に対し、市民の中に大きな期待が広がっています。藤代市長就任後10月までに、市政懇談会が7地域で開催されましたが、そのうち4地域で学童保育の話題がとりあげられました。

働くお母さんの数が専業主婦数を上回っている（平成9年国民生活白書）現在、共働き 単親家庭を支える役割を担う学童保育は地域社会にはなくてはならないものになっています。

2000年度まであと1年あまり。他市に誇れる内容をともなった公設公営の実現こそ、みんなの願いです。

地域も期待しています。

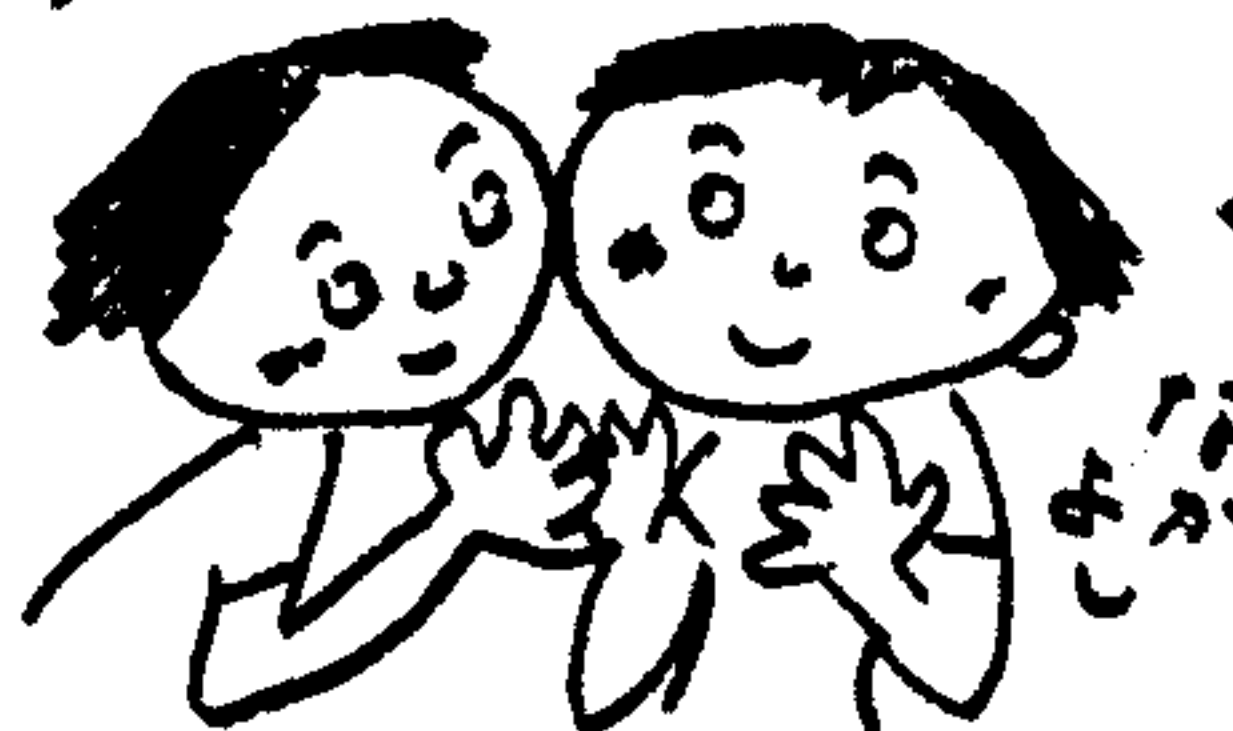
学童保育の知恵と力！

高根台団地自治会
会長 小池芳子

船橋の学童保育の生誕の地ともいわれる高根台団地。ここでは2つの児童育成クラブが、文化・スポーツ・学習などの地域活動を共に支える頼もしい存在になっています。

学童保育は、子どもと親が育つ「共育」の場。ここで培われた知恵と力を広く還元する。そこから新たな展望が広がると期待しています。

頑張れ、学童保育！



第12号

公設公営で、
私たちの望む学童保育を！

学童保育所が近くにできることが 働き続けられる条件です

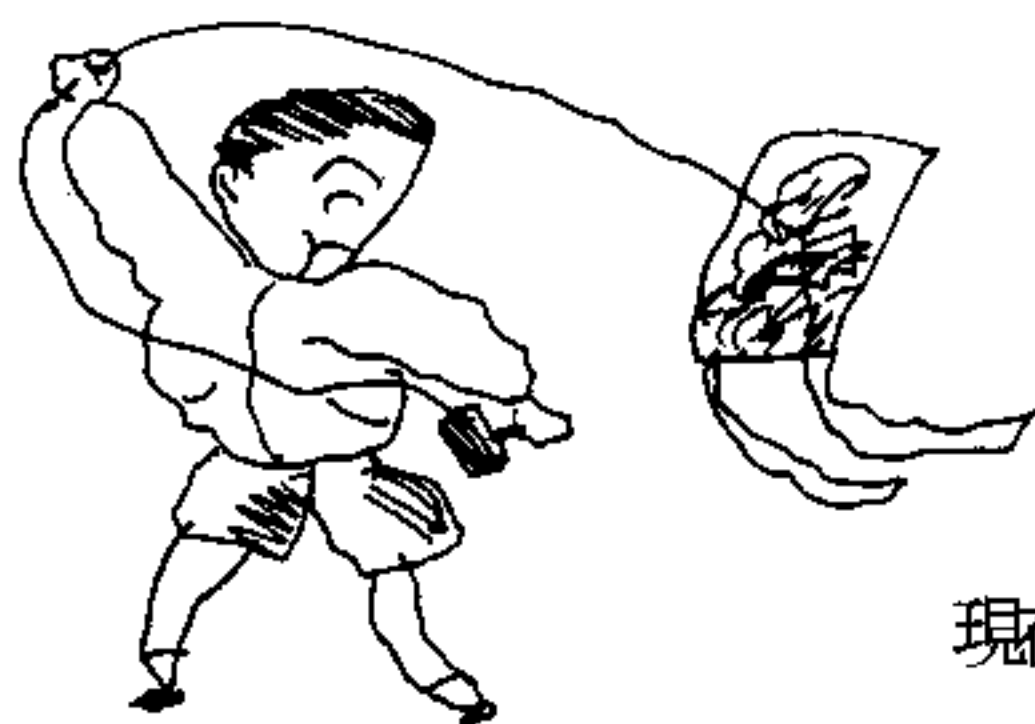
二宮保育園父母 西野美智枝



我が家のひとり娘は現在N保育園に通っています。来年は二宮小学校に入学を予定しています。私は現在働いていて、私たち夫婦は共に他県出身のため、預けられる身内が近くにおりません。それで、来春からは、学童保育を利用して働き続けようと考えていました。けれども学童保育所が薬台公園にあり路線バスを利用しないと通えません。我が家から遠いところにあることを知り、「子どもにそんな大変な思いをさせて働くのはおかしそうかしら」と思い悩んでいました。そこに父母有志の方が二宮小学校学童保育開設に向けて活動しはじめました。なんとか短期間で開設に必要な条件がそろえられ、10月に市に申請書を出し、4月の開設に向けて準備をすすめています。我が娘も、学区内の学童保育に通えるような状況になり「これで今まで通り、安心して働き続けよう」とほっと胸をなで下ろし、喜んでいます。

学童保育の内容はよくわかりませんが、「指導員の先生のもと、異年齢の子ども達協力しあい、育ち合うことを目標としている」と聞きました。1人子の我が子もいっしょに体験ができ成長していけるのではないかと思います。

2000年に学童保育が公設公営になる予定だと聞いています。ますます施設、運営面での質の向上がはかれ、安心して子どもが預けられ、働き続けることができるのではないかと期待しています。



大人たちの輪の中で、心豊かに育つ子どもたち

(1998年10月4日 船橋市学童保育「秋のつどい」での小学校教員のレポートから)

現在、4年生の担任をしています。今、クラスでは2人の男の子が学童保育に通っています。クラスの子どもの放課後の生活は、主に3つのグループに分かれます。部活をやっているグループ、自由に遊んでいるグループ、そして学童保育に通っている2人です。2人というのは少数派ですが、遊びに誘われることがあったり、時には遊びに誘ったりします。この前は、「ザリガニ釣りに行こう」と魅力のある誘いがあったのですが、「今日は学童に行くんだ」と言っていました。確かに数も少数ですが、学童保育の話題が自然にクラスに溶け込んでいます。「学童に行っていることは自分にとって必要だし、楽しみなんだ」という調子で揺るかないものがあるんですね。それをクラスのみならず「Nくんは学童だよ」と自然に認めています。こんなふうに認め合っている関係っていいなと思います。(中略)

学童保育は、安心して通える生活の場というのかもしれませんが、こんなことも期待したいと思っています。けんかをしたり言いたいことが言い合えたり、安心してそれができるような友達づくり、仲間づくりができるようなところ。そして、普段、学校や家庭では体験できないような生の体験ができる場所ではないかなと思います。そして、結局これが大事だと思うのですが、子どもを見守って育てる父母とか指導員のつながりの場ではないのかなという気がします。学童保育に期待するところはたくさんありますが、父母や指導員の大人がみんな、子どもたちを見守っていく、そして自分たちも子育てを楽しむというか、こんなことが子どもを育てると言うことになるといいなと思います。(後略)



公設公営で私たちの望む学童保育を!

1998年 12月17日 <連絡先> 市連協事務所 船橋市西船2-2-21

船橋市学童保育連絡協議会
船橋市学童保育指導員労組

